

2018年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ

**Grand
Design**

グランド デザイン

変額個人年金保険I型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する個人変額年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

お電話でのお問い合わせ先

●金融機関を通じてご加入のお客さま

ジブ ロック

ジブラルタ生命コールセンター **0120-59-2269** **通話料無料**

受付時間 平日 8:30~20:00 / 土曜 9:00~17:00 (日・祝・12/31~1/3を除く)

2019年7月作成



Gibraltar
ジブラルタ生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。
さて、2018年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

1. 市場動向(2018年4月1日～2019年3月31日)

【市場動向】

2018年度の相場は、米中貿易交渉やBrexit等の政治リスクや、各国金融政策への思惑に振られました。

国内株式市場は、堅調な米国株式市場が相場の下支えとなる局面もありましたが、年末にかけてはグローバルにリスクオフムードが拡大する中で下落しました。年明け以降は、グローバルに中央銀行がハト派化したことを受けて反発上昇しました。国内債券は、年央に日銀金融政策決定会合で長期金利変動幅の拡大容認が決定されたことから一時的に利回りが上昇する局面がありましたが、2018年末に市場がリスクオフに傾いたことや、2018年度第4四半期においてグローバルに中央銀行がハト派化したことで利回りの低下が進みました。

米国株式市場は、2018年度前半は、相対的に堅調なマクロ経済環境から上昇基調をたどりました。ただし、2018年の年末に向けて、米中貿易交渉やBrexitに関する不透明感からリスクオフの展開となり大幅に下落しました。その後、2018年度第4四半期には、米連邦準備理事会がハト派化したこともあり、反発しました。米国債券は、年度前半は堅調なマクロ経済環境から利回りが上昇しました。その後、2018年末に市場がリスクオフに傾いたことや、2018年度第4四半期に米連邦準備理事会がハト派化したことで利回りの低下が進みました。

【主な市場の動向】

	日経平均株価(円)	10年国債利回り(日本)	NYダウ平均株価(US\$)	10年国債利回り(米国)	ドル円相場	ユーロ円相場
2018年3月末	21,454.30	0.045%	24,103.11	2.74%	106.24	130.52
2019年3月末	21,205.81	-0.095%	25,928.68	2.41%	110.99	124.56
変化率(債券利回りは変化幅)	-1.2%	0.14%低下	7.6%	0.33%低下	4.5%	-4.6%

2. 保有契約高

区分	件数	金額(万円)
変額個人年金保険I型(年金受取総額および死亡保険金額保証特付)	8	1,800

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	ユニットバリュー	運用利回り
2018年3月末	146.2599	
2018年4月末	149.0268	+1.89%
2018年5月末	147.9956	+1.19%
2018年6月末	145.9387	-0.22%
2018年7月末	148.4256	+1.48%
2018年8月末	146.3239	+0.04%
2018年9月末	150.8212	+3.12%
2018年10月末	143.3590	-1.98%
2018年11月末	146.1969	-0.04%
2018年12月末	137.8406	-5.76%
2019年1月末	142.1856	-2.79%
2019年2月末	144.2895	-1.35%
2019年3月末	145.4881	-0.53%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。

運用利回りはユニットバリューの2018年3月末からの伸び率を記載しております。

4. 資産の内訳

区分	金額	構成比
現預金・コールローン	664	2.8
その他の証券	23,266	97.2
その他	13	0.1
合計	23,944	100.0

5. 運用収支状況(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位:千円)

項目	金額
利息配当金等収入	178
有価証券評価益	7,985
その他の収益	—
有価証券評価損	8,292
その他の費用	—
収支差計	▲128

6. 特別勘定の運用状況（特別勘定名）国内バランス50

■運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「ブルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド（適格機関投資家向け）」（運用会社：PGIMジャパン株式会社）に投資することにより行います。

■運用内容

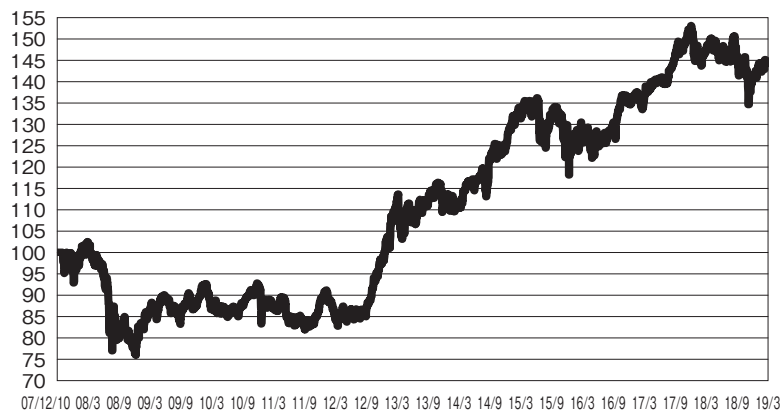
特別勘定への資金の流出入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

当年度末の投資信託の組入れ比率は97.2%です。

当年度末のユニットバリューは145.4881となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は+45.49%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買付・解約により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

■ユニットバリューの推移と運用利回り



設定日：2007年12月10日

	ユニットバリュー	運用利回り
2018年3月末	146.2599	
2018年4月末	149.0268	+1.89%
2018年5月末	147.9956	+1.19%
2018年6月末	145.9387	-0.22%
2018年7月末	148.4256	+1.48%
2018年8月末	146.3239	+0.04%
2018年9月末	150.8212	+3.12%
2018年10月末	143.3590	-1.98%
2018年11月末	146.1969	-0.04%
2018年12月末	137.8406	-5.76%
2019年1月末	142.1856	-2.79%
2019年2月末	144.2895	-1.35%
2019年3月末	145.4881	-0.53%

(注) 運用利回りはユニットバリューの2018年3月末からの伸び率を記載しております。

■保有有価証券の明細

(単位：千円)

銘柄名	種別	時価額
ブルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド（適格機関投資家向け）	投資信託	23,266

